

## (2-5) 地域の孤立対策

### 施策 2-5-⑳

### ヘリポートの整備

#### 【取組の概要】

地形条件によっては、津波や土砂災害により道路が寸断し、車両による輸送が不可能となる場合が想定され、その場合の有力な輸送手段がヘリコプターです。支援物資の輸送や重傷者の搬送に非常に有効です。地方公共団体は、ヘリポートの整備を促進する必要があります。

#### 【計画、整備にあたっての着眼点・留意点】

- ・ヘリポートの計画・整備を行うためには、整備の目的、使用の想定（救助優先、救援主体等）及びまち全体の状況を踏まえて規模や適地を選定し、アクセス道路を含めた配置計画を立案します。
- ・ヘリポートは、一般的に公共用ヘリポート（常設）、非公共用ヘリポート（常設）、飛行場外離着陸場（臨時）に大別できます。また、飛行場外離着陸場のうち、通常の離着陸場のほか、防災対応離着陸場（捜索、救助時）があるため、整備する施設を明確にする必要があります。
- ・実際にヘリコプターを管理している各県の消防航空隊や自衛隊等の協力を得て、適地選定や配置計画等の計画・整備することが重要です。限られた土地の中での選定にあたっては、小中学校のグラウンド等を臨時ヘリポートとして活用を検討することも重要です。
- ・ヘリコプターの離発着時の砂埃対策は、芝張りが効果的です。
- ・災害発生時、ヘリポートが避難場所となり、復旧・支援の支障とならないよう、日頃から自家用車等の進入禁止を徹底しておく必要があります。

#### ◆参考資料

- ・消防防災ヘリコプターの効果的な活用に関する検討会（総務省消防庁、平成 21 年 3 月）  
[http://www.fdma.go.jp/neuter/houdou\\_01/houdou21nen.html](http://www.fdma.go.jp/neuter/houdou_01/houdou21nen.html)